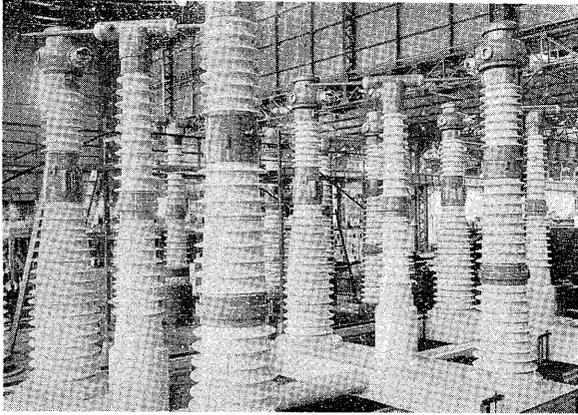


◇230 kV 膨脹遮断器展覧會



長津江水電會社より註文を受けたる 230 kV 屋外用膨脹遮断器 6 臺の内 2 臺が今度完成したので去る 9 月 27 日學界官界並に電氣工業關係諸名士を川崎工場に招請して其批評を乞ふた。本器は本邦に於ける記録的製品である上に鋼、油の如き缺乏物資を節約し又國防上よりも安全なる諸點より時節柄各方面の興味を惹き盛況を極めた。

當日は男爵森村市左衛門殿、瀧澤元治先生及東京帝大西健大山松次郎諸先生はじめ東京帝大、東京工大、早稲田大學、日本大學各教授諸先生、陸海軍技術武官各位、逓信省森技術課長殿、鐵道省森田電氣局長殿、特許局淺見部長殿外各官廳要路の技術諸官各位、並東京電燈福田、安藏、岩瀬各取締役殿を始め 諸會社幹部及技術主腦者百餘名士の御來臨を辱ふしたることは當社の最も光榮とする所である。(本誌口繪及本文「230 kV 膨脹遮断器」參照)。

◇1,500 馬力壓延用電動機受註

最近富士電機は特殊製鋼株式會社より壓延用電動機を受註した。仕様は下記の通である。

1,500 H.P. 3,300 V, 50 C 250 r.p.m.

最大回轉力、250%

電動機は密閉強制通風方式で送風装置及び空氣清淨装置を附屬して居る。尙當社の誇る富士滑り調整器及び配電函をも同時に受註した。

◇製鐵用モーターローラー 113 臺受註

富士電機のモーターローラーは既に多數日本鋼管株式會社に納入して好成績を擧げて居り、又現在も數十臺製作中であるが今回更に三井物産經由、日本製鐵輪西製鐵所向の 113 臺を受註した。之等は數群に分れて各一個の開閉器で運轉せられその内 46 臺は周波數變換機に依り速度を約 3 : 1 の範圍に調整し得るものである。

◇壓延機用 450 馬力レオナードセット完成

古河電氣工業株式會社關西伸銅所註文特殊輕合金壓延機用 450 馬力レオナードセットが最近富士電機に於て完成した。各機の定格は下記の通りである。

主電動機 450/120 H.P. 440/220 V 600-1000/300 RPM

0-100RPM レオナード起動

100-600/100-300 RPM レオナード制御

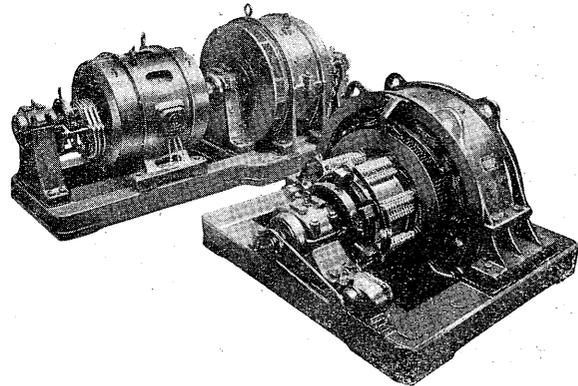
600-1000 RPM 界磁調整

過負荷容量 100% 1 分間

電動發電機 370 kW 440 V 1200 RPM

0-440 V 界磁調整

尙本装置の起動、運轉及び制御は總て押釦操作方式である。



◇ターボブローアー用 1350 馬力誘導電動機受註

最近東京瓦斯株式會社より増設計畫として 1350 馬力誘導電動機 4 臺及び 1050 馬力電動機 1 臺を受註した。其の仕様は次の通りである。

1350 HP 3300 V 50 C 3000 r.p.m.

1050 HP 3300 V 50 C 3000 r.p.m.

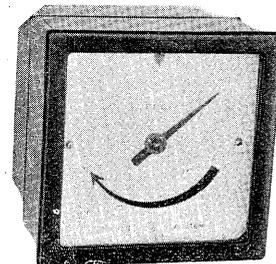
電動機は双方共に閉鎖通風方式である。高速度なる爲油冷式ベアリング及び送油装置を附屬してゐる。

◇富士角型計器の新製品

富士角型計器は發賣以來多大の御好評を博して居るが、今回更に下の二種類の製品の完成を見た。何れも交流機の並列運轉の際に必要な計器であつて、盤面への埋込方法、體裁其他總て他の角型計器と全く同様である。

同期檢定器 型 SQ

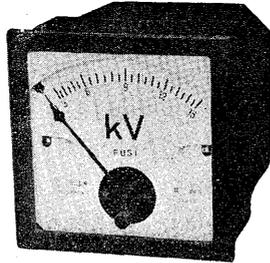
角型計器のケースに廻轉磁界型の同期檢定器を仕込んだもので、機械が漸時同調に近づくと指針の廻轉が遅くなり、同速になると指針は靜止する。直上の赤標の位置に針が靜止した時に位相も完全に一致した事になる。(左寫眞)



110Vに接続し、周波数40乃至60サイクル、消費電流は固定子廻轉子共各約0.1Aである。

複型電圧計 型IIAQ

二個の交流電圧計のエレメントを同一計器内に納め、二本の針を以て二系統の電圧を比較讀取りに便ならしめてある。寫眞に太く出て居る針は赤色で、それに相對して居る黒色針と指示があつた時が兩電圧が相等しいのである。專



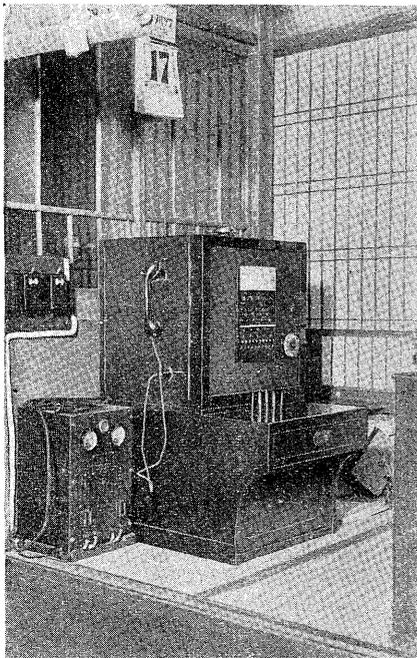
ら上記の同期檢定器に並用して母線電壓と交流機電壓とを正しく一致せしむる目的に用ふる。(上寫眞)

◇東京朝日新聞社受註共電式交換機完成

大阪朝日新聞社大阪本社、朝日ビル、名古屋支局、九州支局等に於ては夙に富士通信機製自動式交換装置を採用せられ、好成绩であるに鑑み、東京朝日新聞本社にて於ても、今回富士通信機製共電式交換機を採用する事となり、鋭意製作中の處此程完成を見、近日中に納入の運びになつた。本装置は5臺10座席、局線實裝40回線、私設線實裝250回線、接續紐回線實裝100で對自動式局用である。

◇細川旅館納、共電式小型交換臺

小型の共電式交換臺は旅館、商店、邸宅向として要望が多い



のであるが、最近富士通信機が東京市京橋區の細川旅館に納入せる交換臺は局線3回線私設線20回線接續紐5回線で据置型ではあるが極く小型で占有面積も少く其施設の快美が注目されて居る。因みに對局は自動式局である。(左寫眞はそれ)

◇富士通信機製造株式会社新社屋に移轉開始

豫て川崎市中原に建設中であつた富士通信機製造株式会社本館及工場建設竣工を告げたるにより、十月上旬より十一月下旬に亘る豫定で部分的に移轉を開始した。

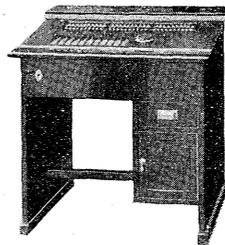
因に其所在及電話番號次の通りである。

川崎市上小田中 1015 番地

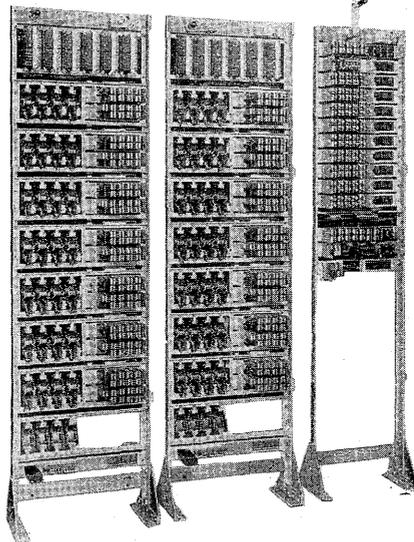
(電話) 田園調布 4241 番(代表)

◇半自動式交換機、實用時代に入る

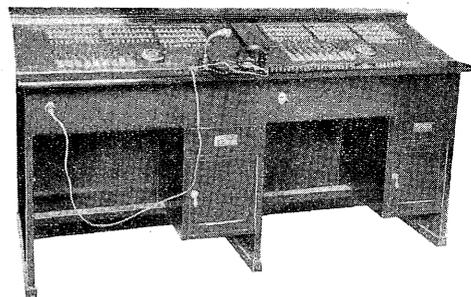
豫てより富士通信機に於ては共電式交換機に自動式交換機の長を織込み、無紐共電式交換機とも云ふ可き半自動式交換機を創案發表し、江湖の批判を仰いで居たのであるが此程各方面より多量の注文を受け、目下製作中であ



← 甲 →



↑ 乙 ↓



*る。寫眞甲は局線5回線、私設線45回線、接續機構10回線のもの、寫眞乙は局線10回線、私設線90回線接續機構16回線、二座席のものである。



*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。